

# 中野地区活性化計画

平成28(2016)年3月

中野地区町内会  
(中野地区地域計画策定委員会)



## 目 次

序章	計画策定にあたって	1
1 章	地区の概要	2
1	位置・面積	2
2	人口・世帯数	3
3	土地利用, 道路・交通	5
4	主要公共公益施設等	5
2 章	地区の活性化計画づくりのためのアンケート調査結果の概要	7
1	調査概要	7
2	調査結果	7
3 章	地区の魅力・資源と問題点・課題	20
1	地区の魅力・資源	20
2	地区の問題点・課題	22
4 章	地区の活性化計画	23
1	地区の将来像	23
2	地区づくりの基本方針	25
3	地区づくりの基本計画	26
4	計画の推進体制	35
資料	計画策定の取り組み	37



## 序章 計画策定にあたって

### 1 計画策定の目的

中野地区町内会は、地区活動を強化するために小林、山中野、土取の3区が合併してできた地区町内会です。山陽自動車道三原久井インターチェンジに近く、広島空港にも比較的近く高速交通条件に恵まれていますが、高齢化・少子化が進行し、地区活動の担い手が不足してきているとともに、商店や公共公益施設が減少し、活力が失われてきています。

こうした状況を打開するには、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。

このため、中野地区町内会では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、誰もが誇りを持ち、自慢できる地区づくりを目指して「中野地区活性化計画」の策定に取り組みました。

### 2 計画の役割

「中野地区活性化計画」は、中野地区町内会が中心になって取り組むことを総合的に示したもので、住民、関係団体などで地区づくりの方向性を共有するとともに、共通の指針とするものです。

また、計画内容を広く発信して、中野地区出身者、都市住民など、多様な方の幅広い応援を働きかけるために活用します。

### 3 計画策定への取り組み

中野地区町内会では、各種団体の代表者などとともに「中野地区地域計画策定委員会」を設置し、「中野地区活性化計画」の策定に取り組みました。

また、計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区住民（16歳以上）へのアンケート調査の実施、地区住民全員を対象とした地区活性化意見交換会（ワークショップ）を行いました。

### 4 計画の期間

計画の期間は、平成28(2016)～32(2020)年度までの5年間とします。

# 1章 地区の概要

## 1 位置・面積

本地区は、三原市久井地域の西南部に位置し、面積は約7.7km<sup>2</sup>です。

地区中心部（中野福祉プラザ）からの主要な場所への距離は、久井支所まで約5km、三原市中心部まで約16km、山陽自動車道三原久井インターチェンジまで約6kmです。

図1 中野地区の位置



## 2 人口・世帯数

### (1) 人口の動向

本地区の総人口を住民基本台帳で見ると、平成27(2015)年で537人になっており、過去5年間で60人減少しています。

年齢3区分別人口をみると、平成27(2015)年で0～14歳48人、15～64歳258人、65歳以上231人になっており、65歳以上の割合は43%になっています。

年齢別にみると、過去5年間で0～14歳は微増、65歳以上は増加していますが、15～64歳は大幅に減少しています。

平成27(2015)年の男女別5歳階級別人口をみると、40歳未満の各年齢層において15人以下となっています。

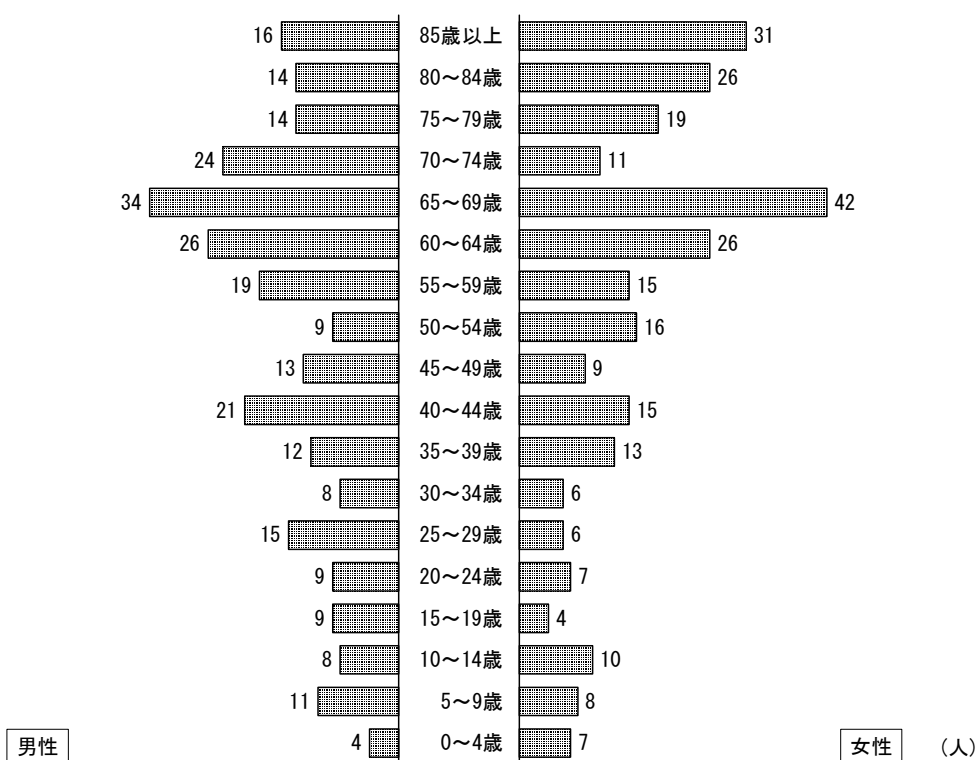
表1 人口の推移

(単位：人，%)

区 分		実 数			増減率	
		H17 (2005)年	H22 (2010)年	H27 (2015)年	H22(2010)／ H17(2005)	H27(2015)／ H22(2010)
実数	0～14歳	58	47	48	△ 19.0	2.1
	15～64歳	375	358	258	△ 4.5	△ 27.9
	65歳以上	189	192	231	1.6	20.3
	合 計	622	597	537	△ 4.0	△ 10.1
割合	0～14歳	9.3	7.9	8.9	-	-
	15～64歳	60.3	60.0	48.0	-	-
	65歳以上	30.4	32.2	43.0	-	-

注：人口は、各年9月末現在。

図2 男女別5歳階級別人口（平成27(2015)年）



## (2) 世帯数の動向

本地区の総世帯数を住民基本台帳で見ると、平成27(2015)年で215世帯になっており、過去5年間で微増となっています。

1世帯当たり世帯人員は平成27(2015)年で2.5人になっており、過去5年間で0.3人減少しています。

表2 世帯数等の推移

区 分	実 数			増減率(%)	
	H17 (2005)年	H22 (2010)年	H27 (2015)年	H22(2010)／ H17(2005)	H27(2015)／ H22(2010)
世帯数(世帯)	208	214	215	2.9	0.5
世帯人員(人)	3.0	2.8	2.5	△ 6.7	△ 10.7

## (3) 人口の将来見通し

人口の将来見通しを平成22(2010)年と平成27(2015)年の住民基本台帳人口をもとに推計すると、平成32(2020)年で480人、平成37(2025)年で430人になり、平成27(2015)年と平成37(2025)年と比較すると約110人の減少が見込まれます。

年齢別に平成27(2015)年と平成37(2025)年の人口を比較すると、各年齢層ともに減少するものと見込まれます。

また、高齢化率は、平成32(2020)年50%、平成37(2025)年約54%に増加するものと見込まれます。

注：人口の将来見通しは、平成22(2010)年から平成27(2015)年の男女別5歳階級別の人口の推移率を求め、その推移率が将来も継続するものとして推計しました。(例：平成22(2010)年の女性の0～4歳人口5人→平成27(2015)年の女性の5～9歳人口4人の場合は、推移率が0.800になります。)

図3 年齢区分別人口推計

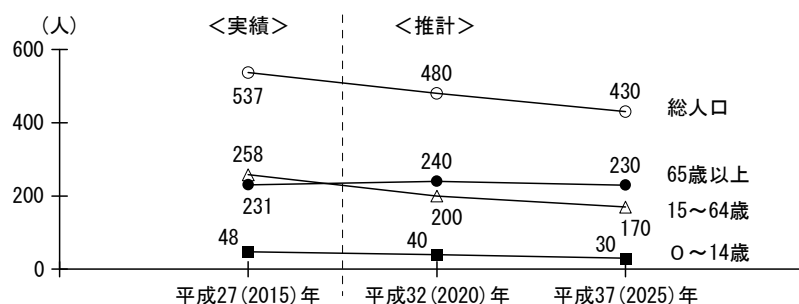
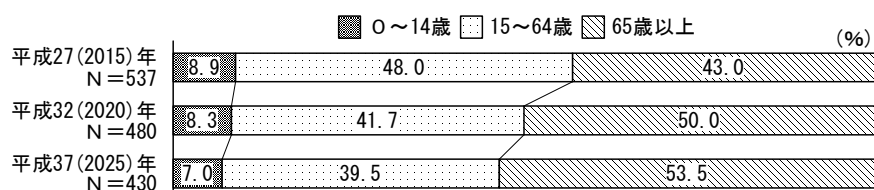


図4 年齢区分別人口割合





### 3 土地利用，道路・交通

本地区は，集落・農地が(一)上徳良久井線，市道，(一)大草三原線と連続する南北軸沿いを中心に分布しています。河川は，仏通寺川が地区の南東部を南北に流れているほか，地区西部にみごう湖が広がっています。山林は，集落・農地を囲む形で東西に広がっています。

道路網は，国道486号が地区北部を東西に走り，山陽自動車道三原久井インターチェンジと大和地域和木地区方面と連絡しています。また，(一)大草三原線が地区南部から北上した後地区西部を東西に走っており，これに加えて国道486号と(一)上徳良久井線を連絡する市道が骨格道路になっています。

地区の公共交通としては，中野地区と久井支所周辺及び江木地区中心部を連絡する久井ふれあいバスが週2日運行しています。

### 4 主要公共公益施設等

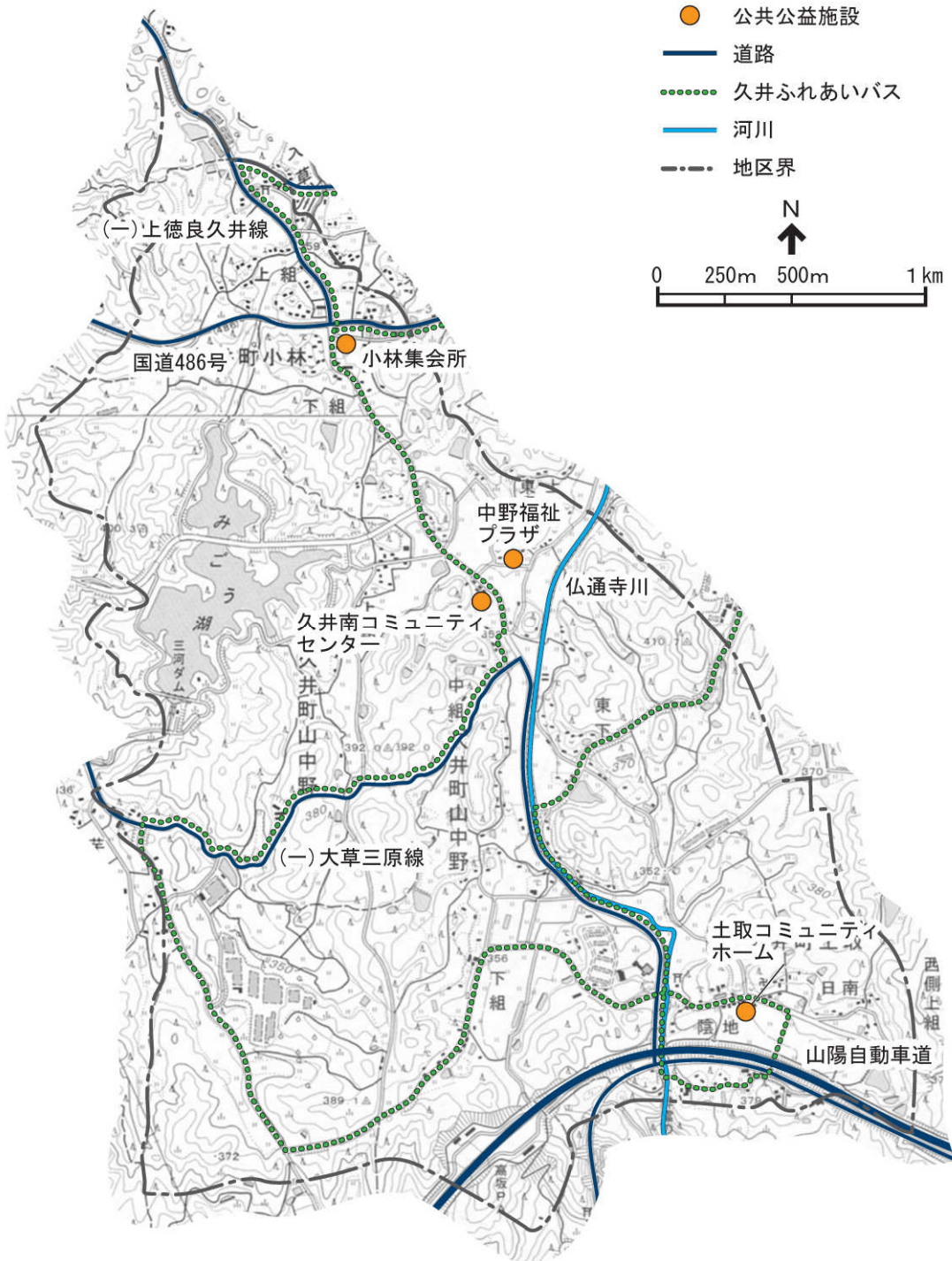
本地区には，文化集会施設として地区中央に久井南コミュニティセンター及び中野福祉プラザ，地区北部に小林集会所，地区南部に土取コミュニティホームがあります。また，スポーツ施設として久井南コミュニティセンターにグラウンドや体育館があります。

商業施設は，小林集会所に隣接して一般商店がある程度です。

表3 中野地区の公共公益施設

区 分	名 称
文化集会施設	久井南コミュニティセンター 中野福祉プラザ 小林集会所 土取コミュニティホーム
スポーツ施設	久井南コミュニティセンター (グラウンド，体育館)

図5 中野地区の公共公益施設等



## 2章 地区の活性化計画づくりのためのアンケート調査結果の概要

### 1 調査概要

本調査は、地区住民（16歳以上）の意見を把握し、「中野地区活性化計画」の策定に反映するために行ったもので、対象者全員に配布しました。その結果、調査票の回収件数は385件でした。

### 2 調査結果

#### (1) 回答者自身について

回答者の性別は、「男性」47.3%、「女性」47.8%で同程度の割合です。

年齢は、「65～74歳」が26.5%で最も割合が高く、次いで、「75～84歳」17.1%、「50歳代」12.2%、「40歳代」11.7%、「60～64歳」11.4%、「30歳代」6.0%、「85歳以上」5.7%、「20歳代」5.5%、「19歳以下」2.1%の順になっており、65歳以上が約5割を占めています。

家族構成は、「二世世代（子どもと同居）」が23.6%で最も割合が高く、次いで「夫婦二人暮らし（二人とも又はどちらかが65歳以上）」及び「二世世代（親と同居）」18.4%、「三世代・四世代」17.1%、「一人暮らし（65歳以上）」7.0%、「夫婦二人暮らし（夫婦ともに65歳未満）」4.9%、「一人暮らし（65歳未満）」1.8%の順になっており、「一人暮らし（65歳以上）」と「夫婦二人暮らし（二人とも又はどちらかが65歳以上）」を合わせた割合が約1/4を占めています。

図6 性別

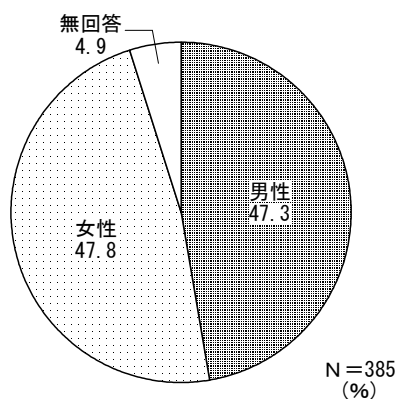


図7 年齢

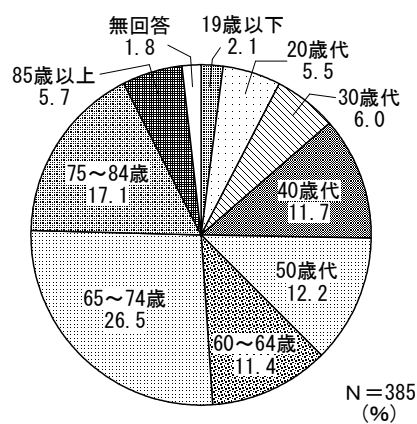
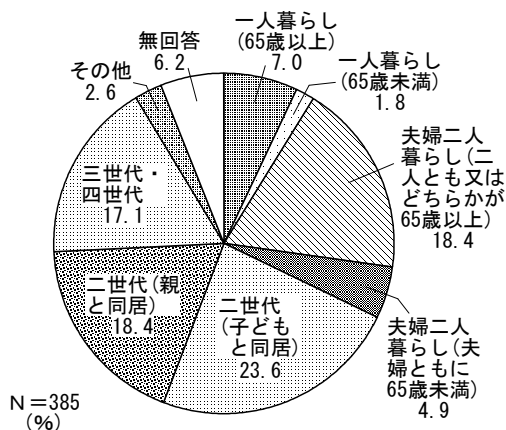


図8 家族構成

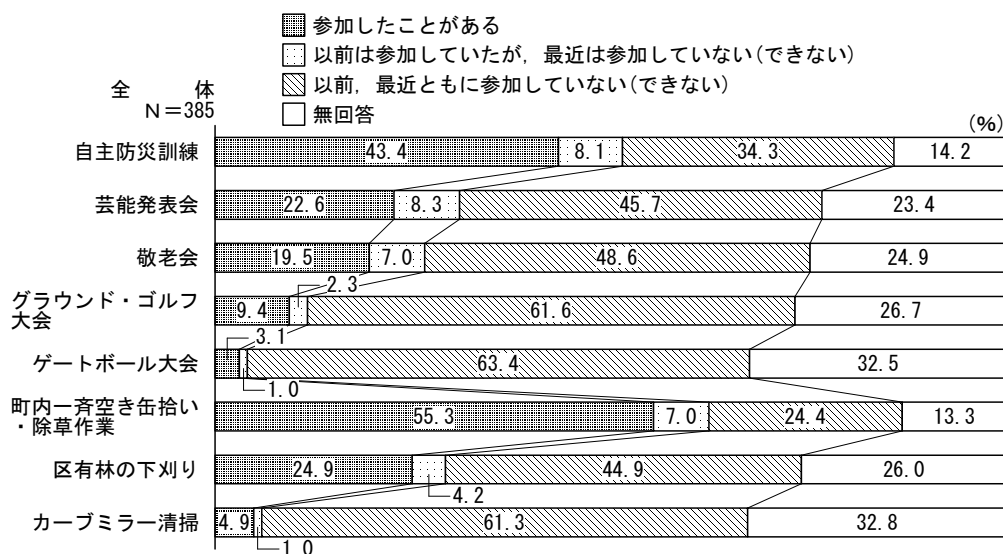


## (2) 行事・活動への参加状況と満足度

### ア 行事・活動への参加状況

行事・活動へ「参加したことがある」と答えた人をみると、「町内一斉空き缶拾い・除草作業」が55.3%で最も割合が高く、次いで「自主防災訓練」43.4%、「区有林の下刈り」24.9%、「芸能発表会」22.6%、「敬老会」19.5%、「グラウンド・ゴルフ大会」9.4%、「カーブミラー清掃」4.9%、「ゲートボール大会」3.1%の順です。「町内一斉空き缶拾い・除草作業」以外は5割未満であり、「グラウンド・ゴルフ大会」、「カーブミラー清掃」、「ゲートボール大会」の3項目は10%未満と特に割合が低くなっています。

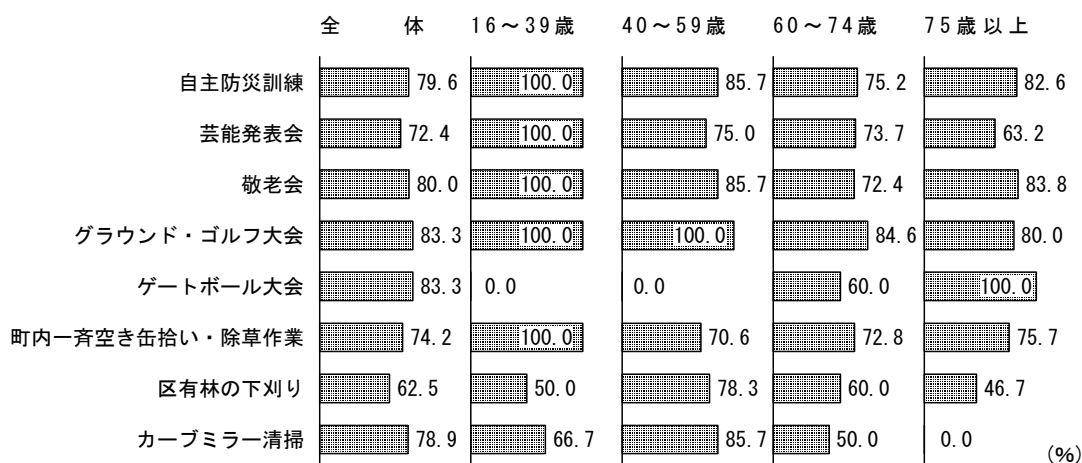
図9 参加状況



### イ 行事・活動に参加した人の満足度

行事や活動へ参加している人の満足度（「良い」と「やや良い」を合わせた割合）をみると、80%台3項目、70%台4項目、60%台1項目で、「区有林の下刈り」の割合が低くなっています。

図10 満足度

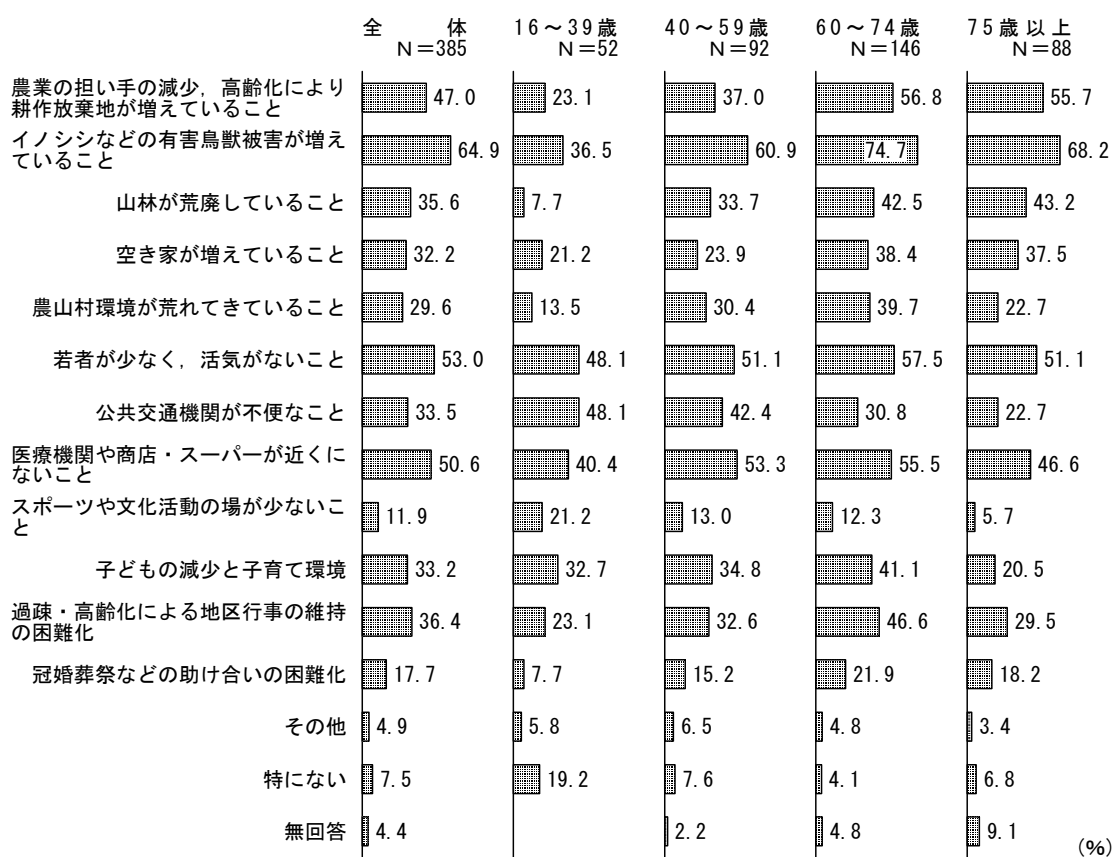


### (3) 地区の現状や将来のことでの不安や今後の居住意向

#### ア 地区の現状や将来のことでの不安に思っていること

地区の現状や将来のことでの不安に思っていることは、「イノシシなどの有害鳥獣被害が増えていること」が64.9%で最も割合が高く、次いで「若者が少なく、活気がないこと」53.0%、「医療機関や商店・スーパーが近くにないこと」50.6%、「農業の担い手の減少、高齢化により耕作放棄地が増えていること」47.0%、「過疎・高齢化による地区行事の維持の困難化」36.4%の順で、これら項目が上位5位を占めています。その他では、「山林が荒廃していること」35.6%、「公共交通機関が不便なこと」33.5%、「子どもの減少と子育て環境」33.2%、「空き家が増えていること」32.2%などの順です。

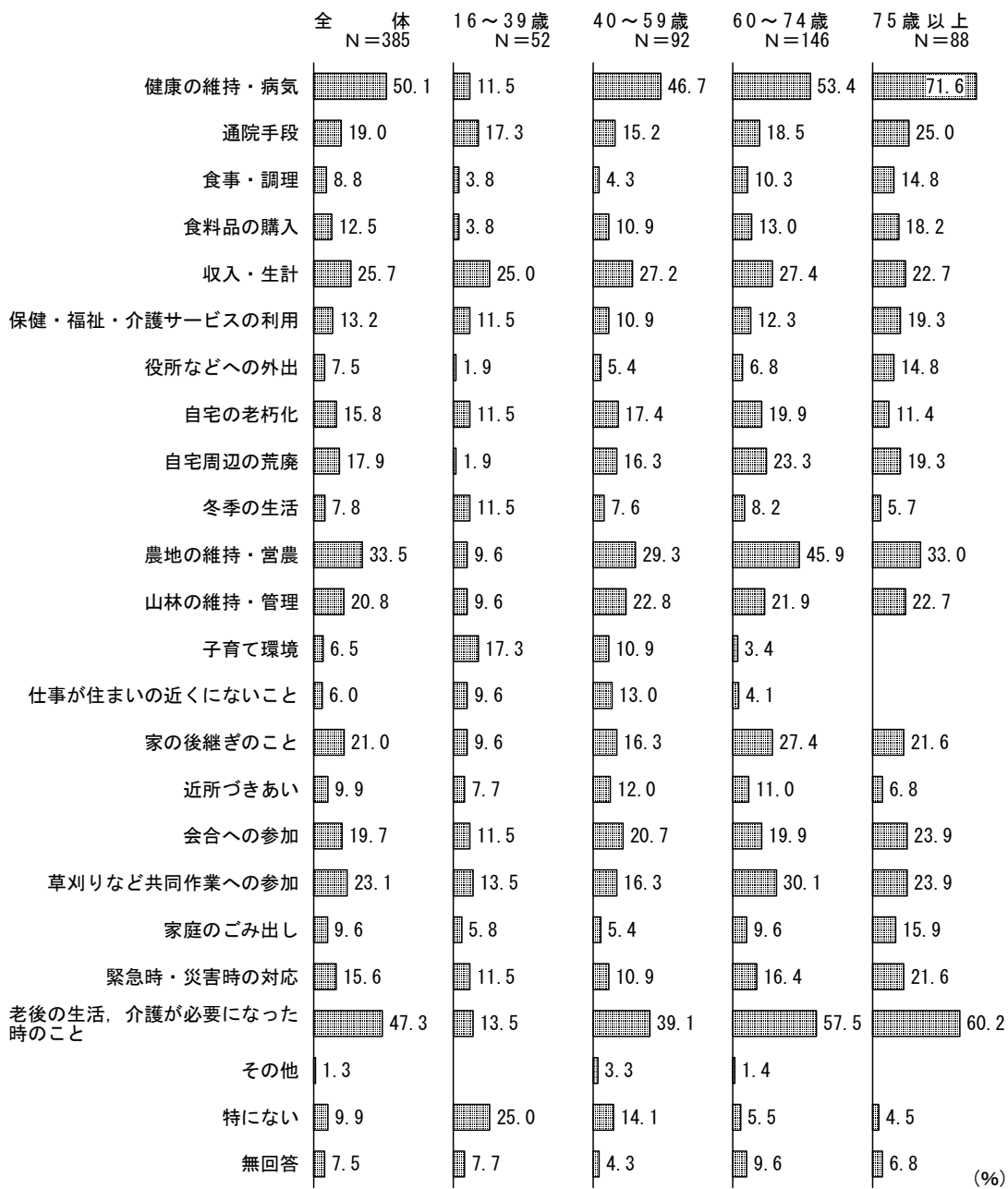
図11 地区の現状や将来のことでの不安に思っていること（複数回答：いくつでも）



## イ 個人や家族のことで不安に思っていること

個人や家族のことで不安に思っていることは、「健康の維持・病気」が50.1%で最も割合が高く、次いで「老後の生活、介護が必要になった時のこと」47.3%、「農地の維持・営農」33.5%、「収入・生計」25.7%、「草刈りなど共同作業への参加」23.1%の順で、これら項目が上位5位を占めています。その他では、「家の後継ぎのこと」21.0%、「山林の維持・管理」20.8%、「会合への参加」19.7%、「通院手段」19.0%、「自宅周辺の荒廃」17.9%などの順です。

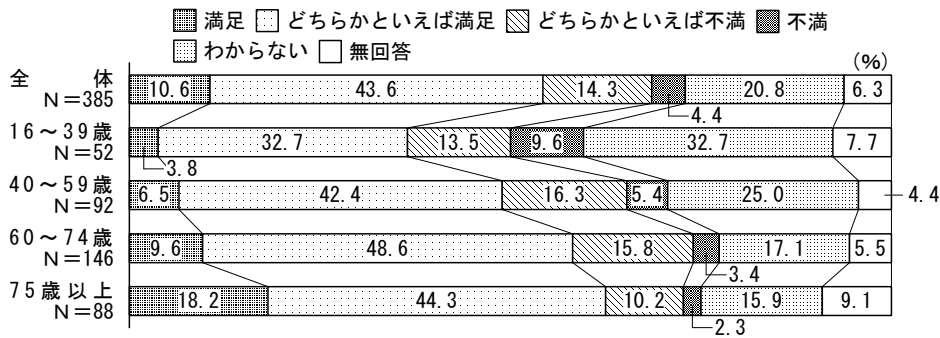
図12 個人や家族のことで不安に思っていること（複数回答：いくつでも）



### ウ 地区の住みやすさの評価

地区の住みやすさについては、「満足」10.6%、「どちらかといえば満足」43.6%で、これらを合わせた住みやすさに満足している人の割合は54.2%と半数程度です。

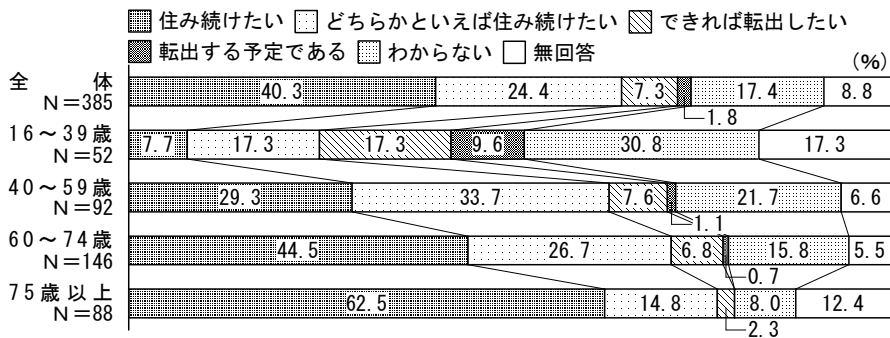
図13 地区の住みやすさの評価



### エ 地区への今後の居住意向

地区への今後の居住意向は、「住み続けたい」40.3%、「どちらかといえば住み続けたい」24.4%で、これらを合わせた地区へ住み続ける意向の人は約2/3です。

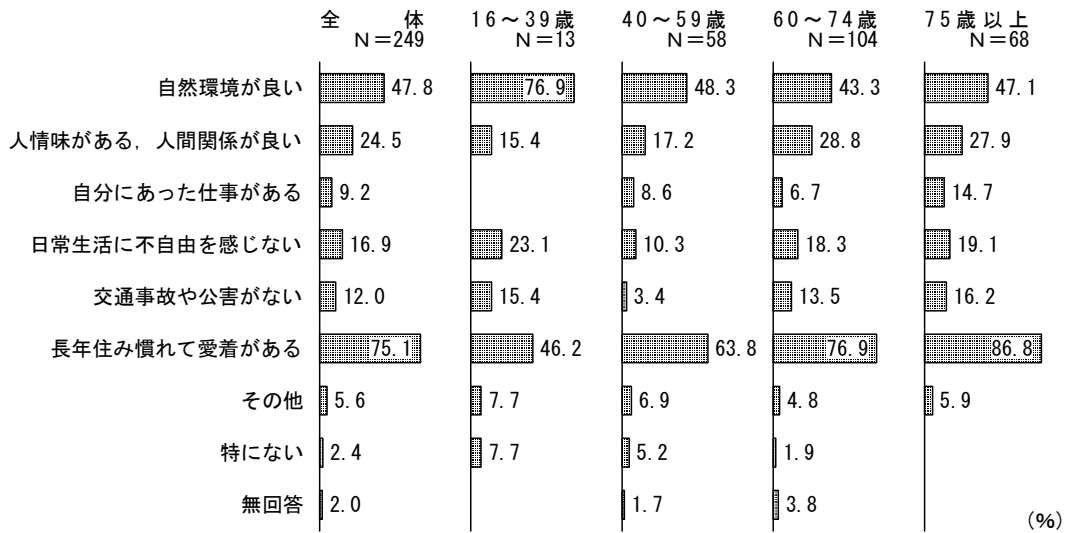
図14 地区への今後の居住意向



### オ 地区に住み続けたいと思う理由

地区に住み続ける意向のある人の住み続けたいと思う理由は、「長年住み慣れて愛着がある」が75.1%で最も割合が高く、次いで「自然環境が良い」47.8%の順で、この2項目を挙げた人の割合が高くなっています。その他では、「人情味がある，人間関係が良い」24.5%、「日常生活に不自由を感じない」16.9%、「交通事故や公害がない」12.0%などの順です。

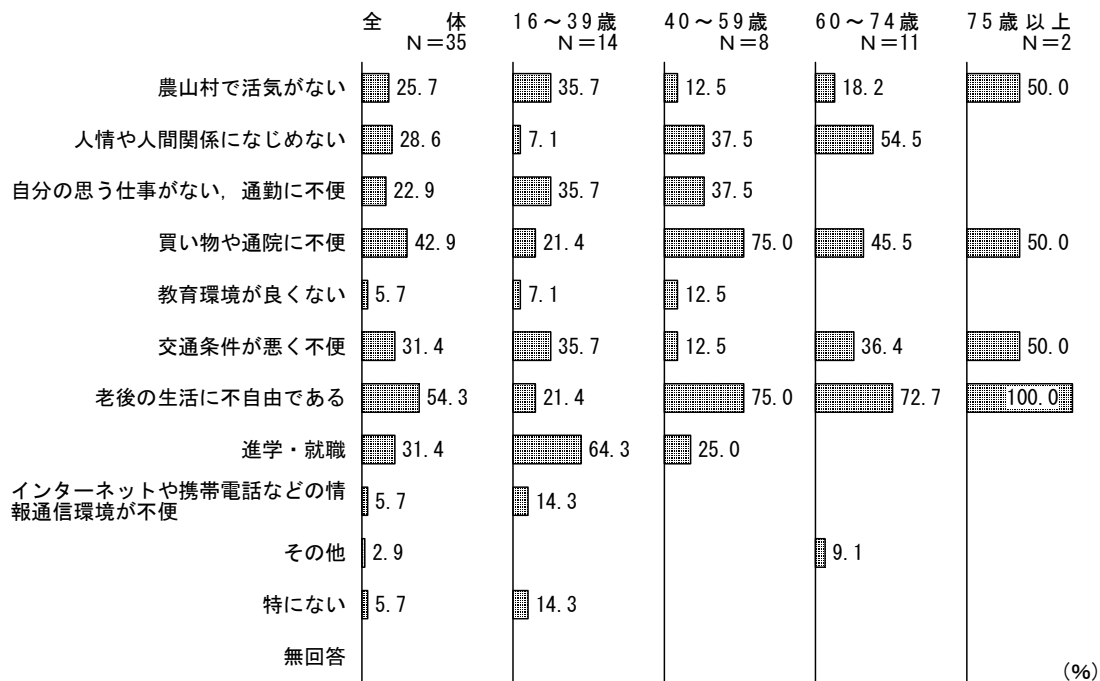
図15 地区に住み続けたいと思う理由（複数回答：いくつでも）



### カ 地区を転出したいと思う理由

地区を転出する意向のある人の地区を転出したいと思う理由は、「老後の生活に不自由である」が54.3%で最も割合が高く、次いで「買い物や通院に不便」42.9%の順で、この2項目の割合が高くなっています。その他では、「交通条件が悪く不便」及び「進学・就職」31.4%、「人情や人間関係になじめない」28.6%、「農山村で活気がない」25.7%、「自分の思う仕事がない，通勤に不便」22.9%などの順です。

図16 地区を転出したいと思う理由（複数回答：いくつでも）



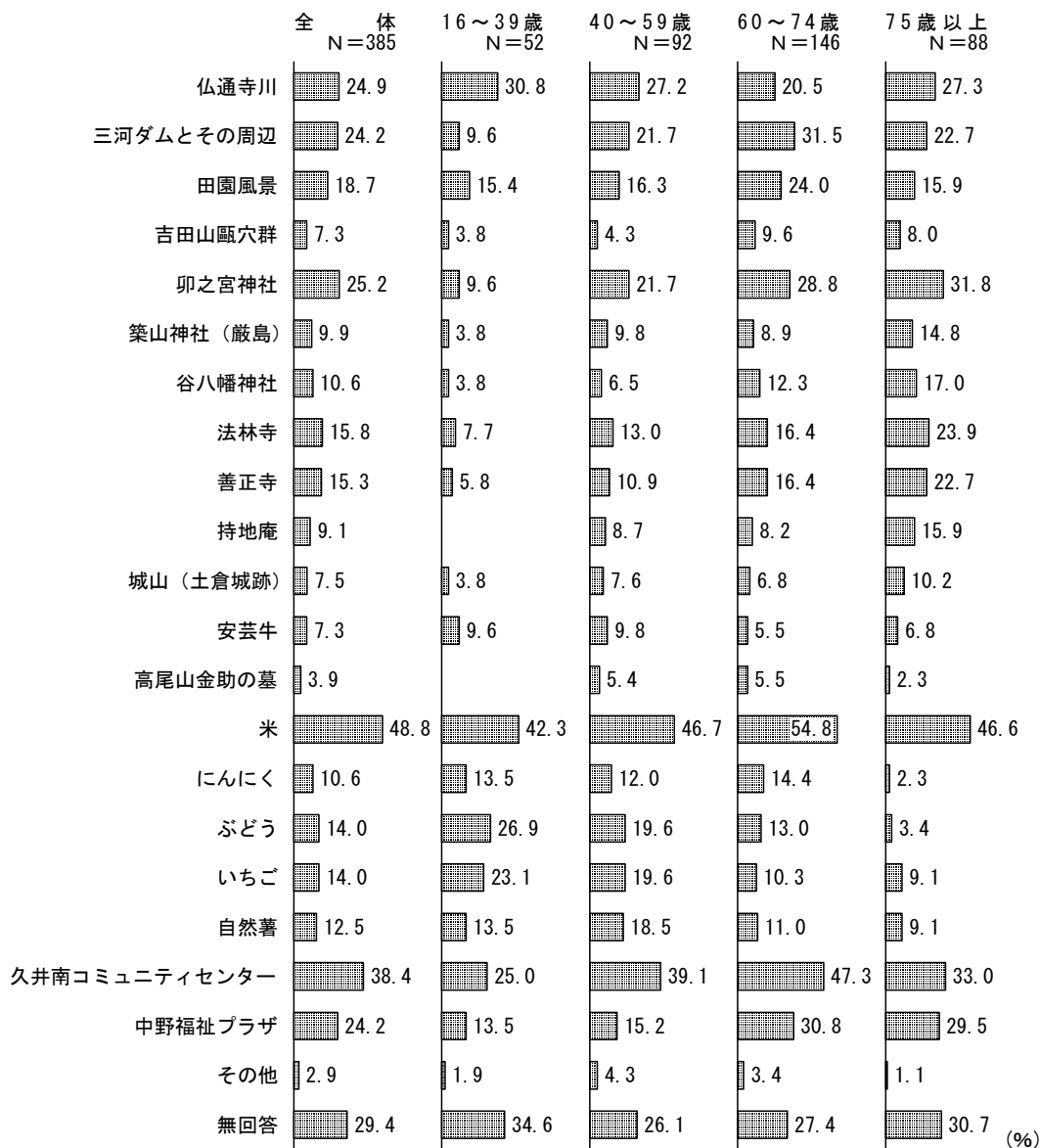


#### (4) 今後の地区づくりについて

##### ア 地区で大事にしたい、活用したい資源

地区で大事にしたい、活用したい資源は、「米」が48.8%で最も割合が高く、次いで「久井南コミュニティセンター」38.4%、「卯之宮神社」25.2%、「仏通寺川」24.9%、「三河ダムとその周辺」及び「中野福祉プラザ」24.2%の順で、これら項目が上位5位を占めています。その他では、「田園風景」18.7%、「法林寺」15.8%、「善正寺」15.3%、「ぶどう」及び「いちご」14.0%などの順です。

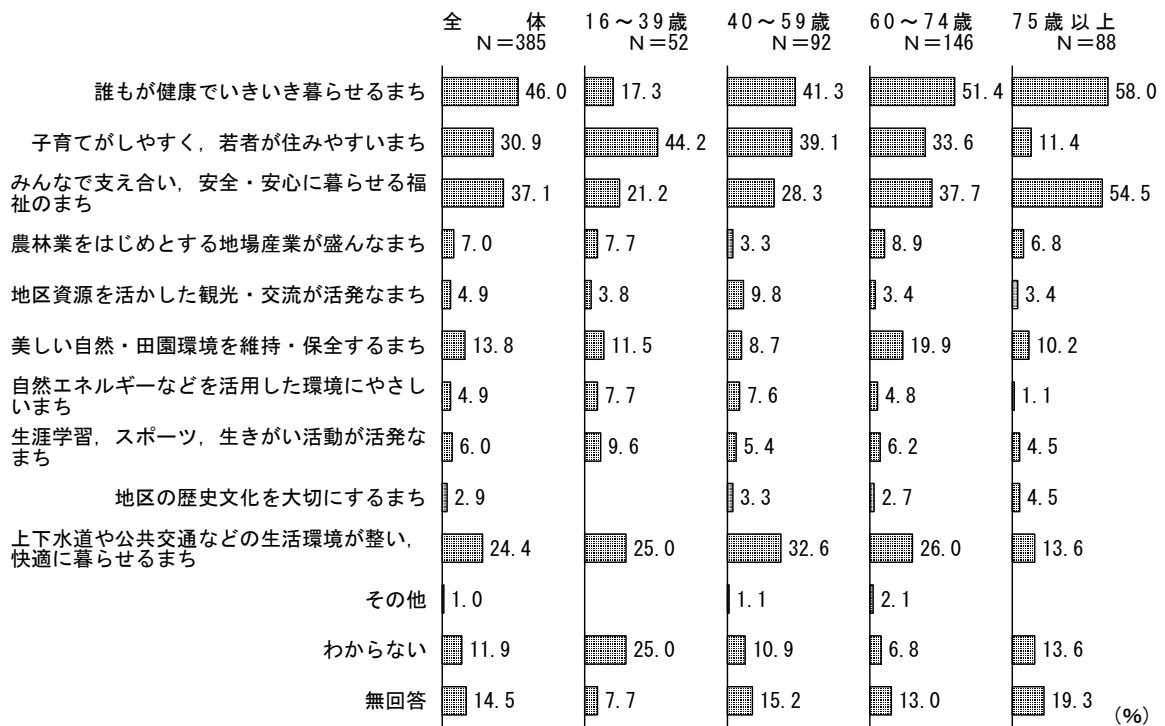
図17 地区で大事にしたい、活用したい資源（複数回答：いくつでも）



## イ 地区の将来像

地区の将来像は、「誰もが健康でいきいき暮らせるまち」が46.0%で最も割合が高く、次いで「みんなで支え合い、安全・安心に暮らせる福祉のまち」37.1%、「子育てがしやすく、若者が住みやすいまち」30.9%の順で、これら項目が上位3位を占めています。その他では、「上下水道や公共交通などの生活環境が整い、快適に暮らせるまち」24.4%、「美しい自然・田園環境を維持・保全するまち」13.8%などの順です。

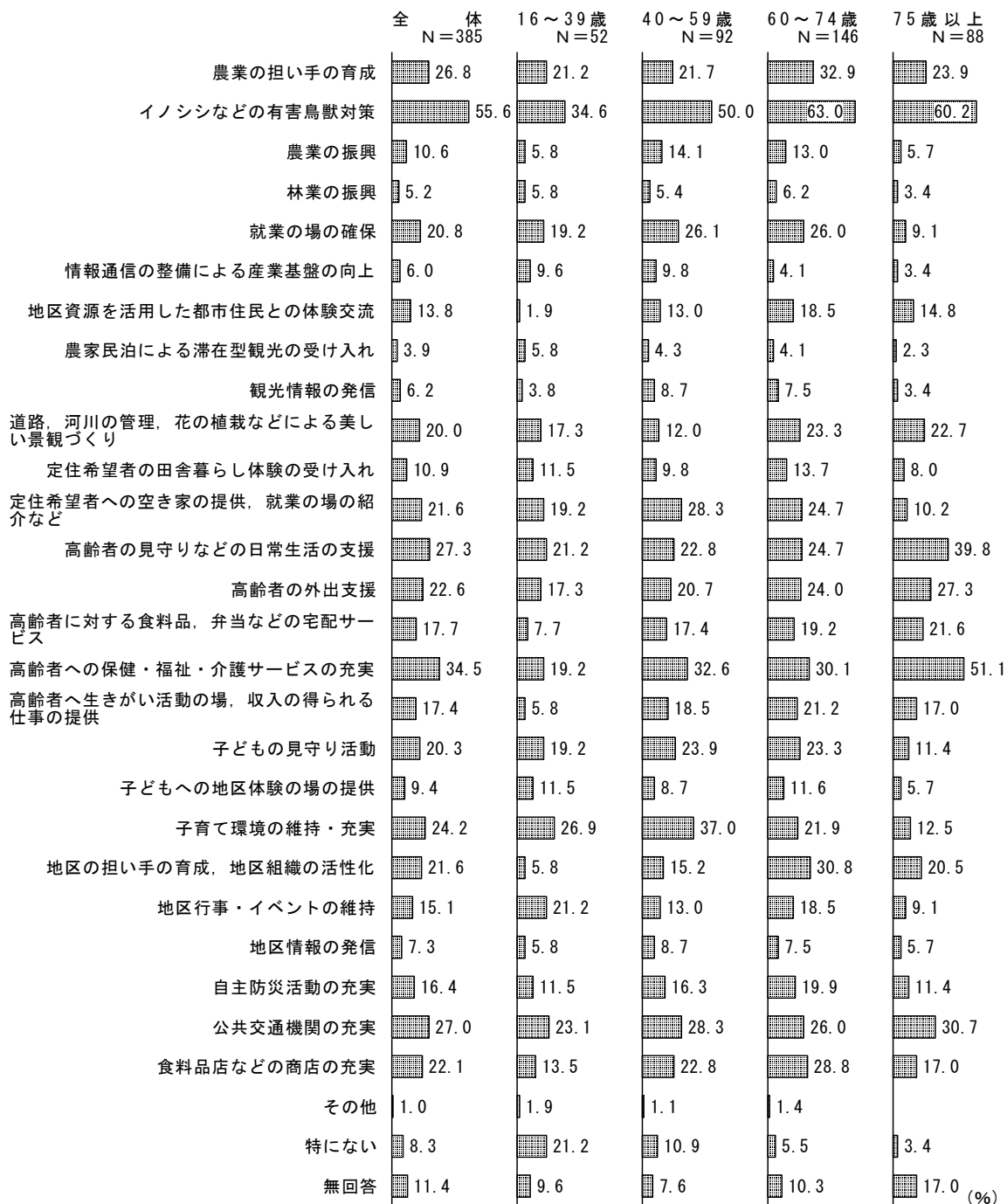
図18 地区の将来像（複数回答：3つ以内）



### ウ 地区で今後取り組みたいこと、取り組んで欲しいこと

地区で今後取り組みたいこと、取り組んで欲しいことは、「イノシシなどの有害鳥獣対策」が55.6%で最も割合が高く、次いで「高齢者への保健・福祉・介護サービスの充実」34.5%、「高齢者の見守りなどの日常生活の支援」27.3%、「公共交通機関の充実」27.0%、「農業の担い手の育成」26.8%の順で、これら項目が上位5位を占めています。その他では、「子育て環境の維持・充実」24.2%、「高齢者の外出支援」22.6%、「食料品店などの商店の充実」22.1%、「定住希望者への空き家の提供、就業の場の紹介など」及び「地区の担い手の育成、地区組織の活性化」21.6%、「就業の場の確保」20.8%、「子どもの見守り活動」20.3%、「道路、河川の管理、花の植栽などによる美しい景観づくり」20.0%などの順です。

図19 地区で今後取り組みたいこと、取り組んで欲しいこと（複数回答：いくつでも）

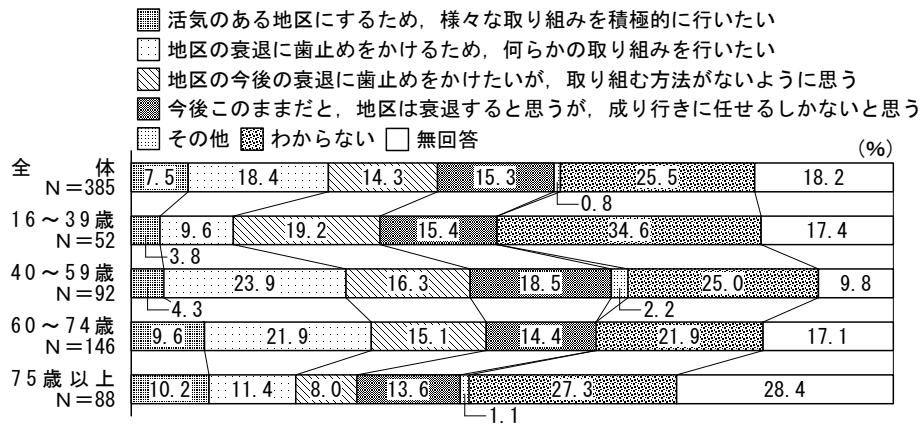


## (5) 地区づくりへの参加について

### ア 中野地区の活性化に向けての取り組み意向

地区の活性化に向けての取り組み意向については、「活気のある地区にするため、様々な取り組みを積極的に行いたい」7.5%、「地区の衰退に歯止めをかけるため、何らかの取り組みを行いたい」18.4%で、これらを合わせた地区の活性化を図るために何らかの取り組みをしたいと考えている人は約1/4になっています。

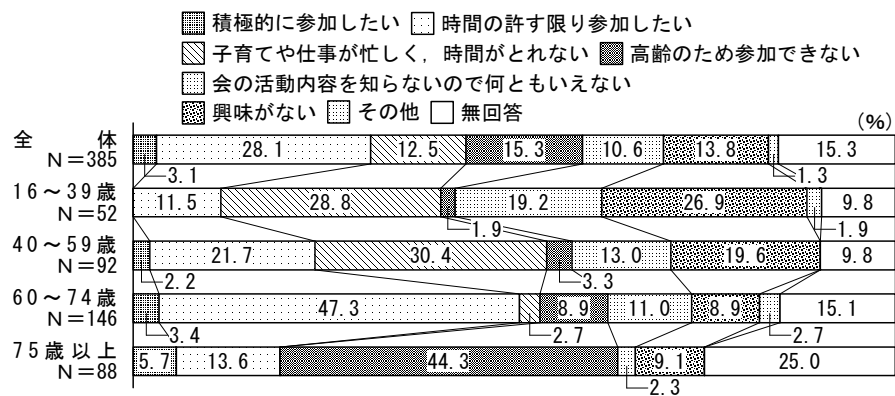
図20 中野地区の活性化に向けての取り組み意向



### イ 中野地区町内会の活動への参加意向

中野地区町内会の活動への参加については、「積極的に参加したい」3.1%、「時間の許す限り参加したい」28.1%で、これらを合わせた地区町内会の活動へ参加意向のある人は3割以上になっています。

図21 中野地区町内会の活動への参加意向

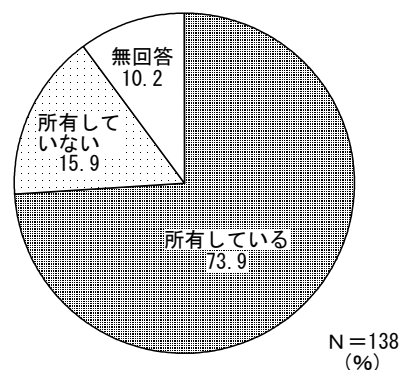


## (6) 農地の所有・耕作状況について

### ア 農地の所有状況

世帯主であると答えた人で農地を「所有している」と答えた人は73.9%です。

図22 農地の所有状況



### イ 農地を所有している人の状況

#### (7) 農地の所有面積

農地の所有面積は、「50～100アール（5反～1町）未満」が38.2%で最も割合が高く、次いで「100～200アール（1～2町）未満」31.4%、「30～50アール（3～5反）未満」18.6%、「30アール（3反）未満」4.9%、「200～500アール（2～5町）未満」1.0%の順で、50～200アール（5反～2町）未満が約7割を占めています。

#### (イ) 農地の現在の耕作状況

農地の現在の耕作状況は、「家族で耕作している」が65.7%で最も割合が高く、次いで「家族で耕作せず、他の農家や農事組合法人に耕作を頼んでいる（貸付、作業委託）」14.7%、「家族で耕作するとともに、他の農家や農事組合法人に耕作を頼んでいる（貸付、作業委託）」9.8%、「耕作していない（荒らしている）」2.9%の順で、家族で耕作している世帯が約2/3を占めています。

図23 農地の所有面積

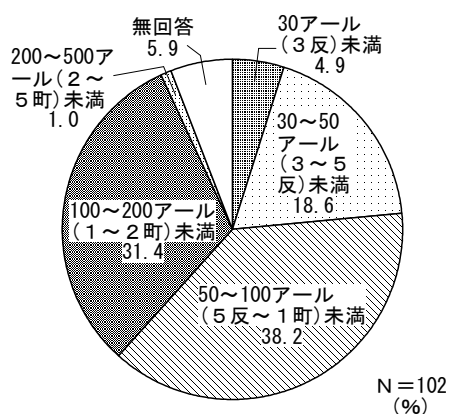
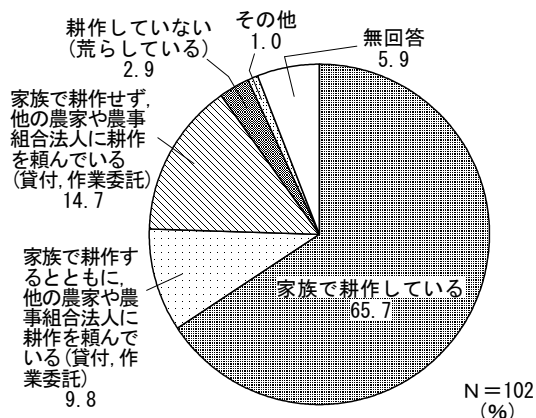


図24 農地の耕作状況



(ウ) 農作物の販売状況

農産物の販売状況は、「JAへ出荷するとともに、農産物直販所などで販売している」5.9%、「JAへ出荷している」44.1%、「農産物直販所で販売している」2.0%で、これらを合わせた半数以上の世帯がJAや農産直売所で農作物を販売しています。

(イ) 農地の今後の耕作意向

農地の今後の耕作意向は、「現在と同様の方法で耕作する」が44.1%で最も割合が高く、次いで「家族での耕作をやめ、他の農家や農事組合法人に耕作を頼む（貸付、作業委託）」17.6%、「家族での耕作面積を減らし、他の農家や農事組合法人に耕作を頼む面積を増やす（貸付、作業委託）」7.8%、「耕作をやめる」3.9%、「今までどおり耕作しない」2.9%の順になっており、今後、他の農家や農事組合法人への貸付、作業委託のニーズが高まるものと見込まれます。

図25 農作物の販売状況

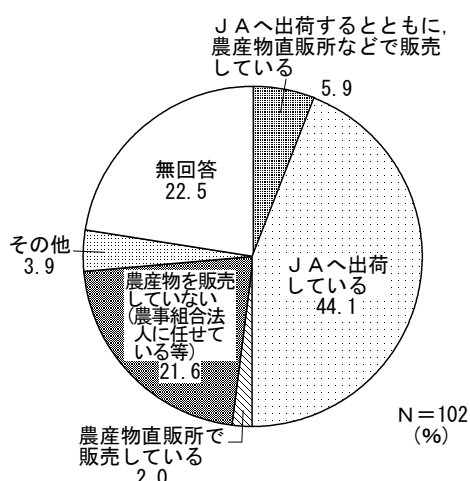


図26 今後の耕作意向

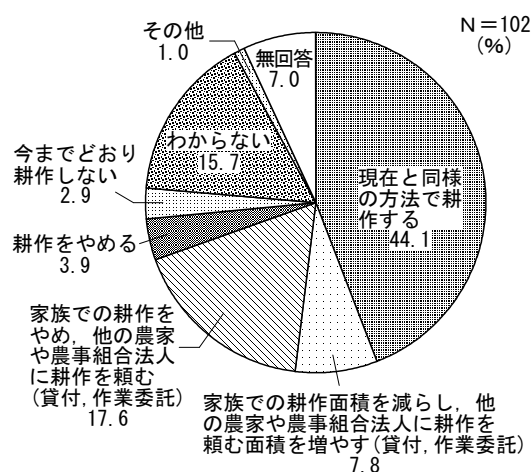


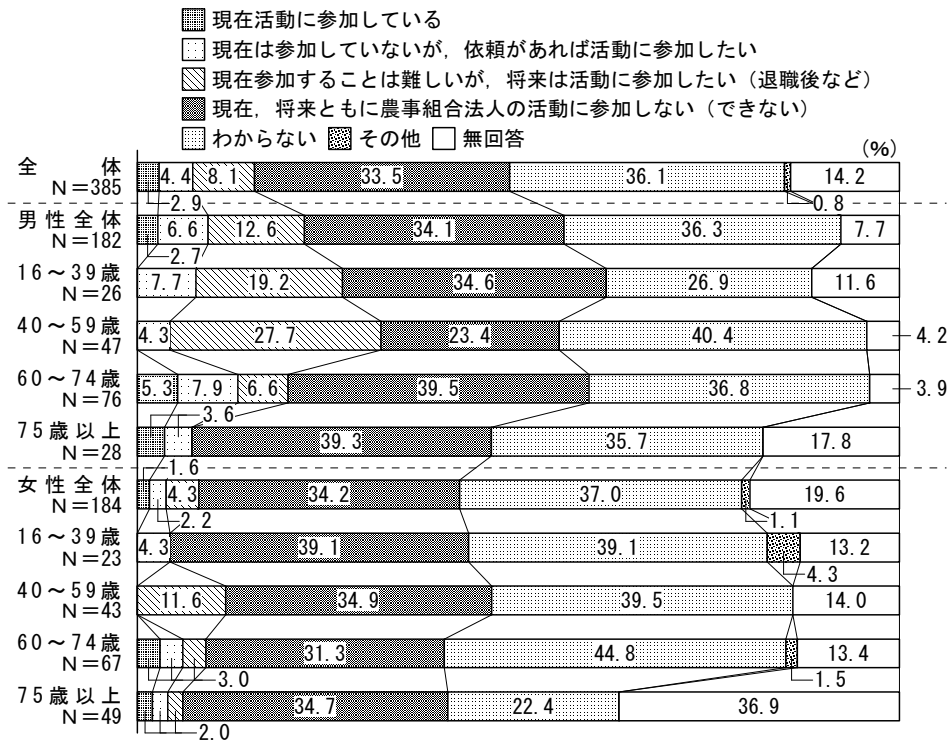
表4 「現在と同様の方法で耕作する」と答えた世帯の現在の耕作方法

耕作方法	世帯(世帯)	割合(%)
家族で耕作している	38	84.5
家族で耕作するとともに、他の農家や農事組合法人に耕作を頼んでいる（貸付、作業委託）	2	4.4
家族で耕作せず、他の農家や農事組合法人に耕作を頼んでいる（貸付、作業委託）	5	11.1
合計	45	100.0

### ウ 農事組合法人等の活動への参加意向

農業の担い手として農事組合法人などの活動への参加意向は、「現在活動に参加している」が2.9%です。また、「現在は参加していないが、依頼があれば活動に参加したい」4.4%、「現在参加することは難しいが、将来は活動に参加したい（退職後など）」8.1%で、新規に農業の担い手として活動する意向のある人は12.5%です。

図27 農事組合法人等の活動への参加意向



### 3章 地区の魅力・資源と問題点・課題

#### 1 地区の魅力・資源

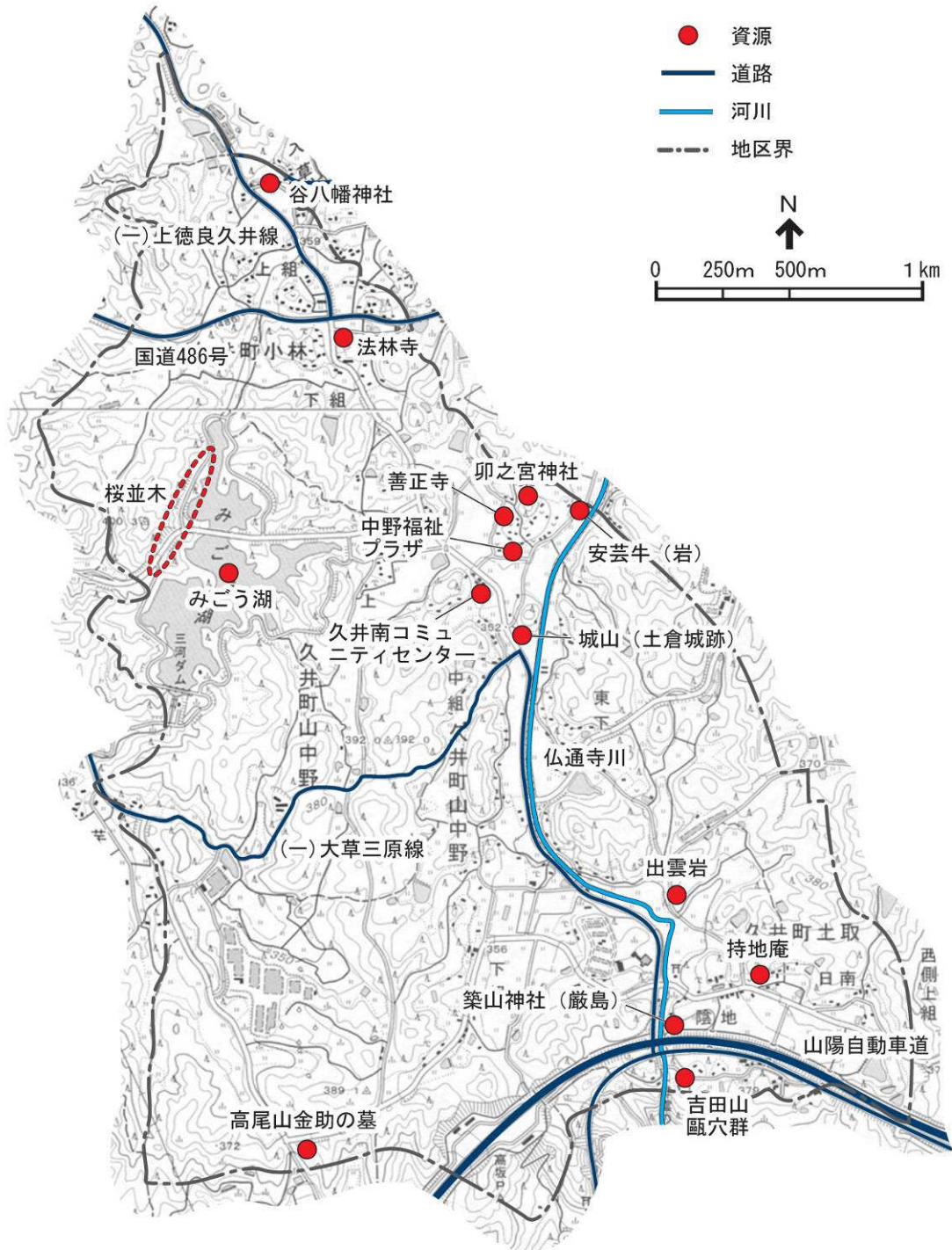
アンケート調査結果及び地区活性化意見交換会（ワークショップ）での意見を踏まえて、地区の魅力・資源を整理すると、次のとおりです。

表5 地区の魅力・資源

区分	地区の魅力・資源
立地条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>山陽自動車道三原久井インターチェンジ（約6km）、広島空港（約17km）に近く、便利が良い。</li> </ul>
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏通寺川（メダカ、ハヤ、ザリガニ等の豊富な生息物）。</li> <li>吉田山甌穴群。</li> <li>みごう湖の景観、みごう湖周辺の桜並木</li> <li>みごう湖にブラックバス、鯉、鮒等が生息し、釣り客が来訪。</li> <li>美しい農村景観。</li> <li>低い山並で日照時間が長い。</li> <li>高原の町で空気がきれい（標高300～400m）。</li> </ul>
歴史文化資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の古い神社仏閣（卯之宮神社、築山神社（巖島）、谷八幡神社、法林寺、善正寺、持地庵）。</li> <li>安芸牛（岩）、出雲岩。</li> <li>城山（土倉城跡）。</li> <li>高尾山金助の墓。</li> </ul>
農地・農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>おいしい米。</li> <li>イチゴ、ブドウ、自然薯、にんにく。</li> <li>休耕田。</li> <li>イノシシ肉。</li> </ul>
地区活動・近隣関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野福祉プラザ、久井南コミュニティセンター。</li> <li>地区活動の核になる町内会で専門部が10部ある。</li> <li>自主防災組織。</li> <li>すくすくサロン（久井認定こども園入所までの子どもの預かり）、高齢者サロンがある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家（約30戸）。</li> <li>災害（台風等）が少ない。</li> </ul>



図28 地区の魅力・資源



## 2 地区の問題点・課題

アンケート調査結果及び地区活性化意見交換会（ワークショップ）での意見を踏まえて、地区の問題点・課題を整理すると、次のとおりです。

表6 地区の問題点・課題

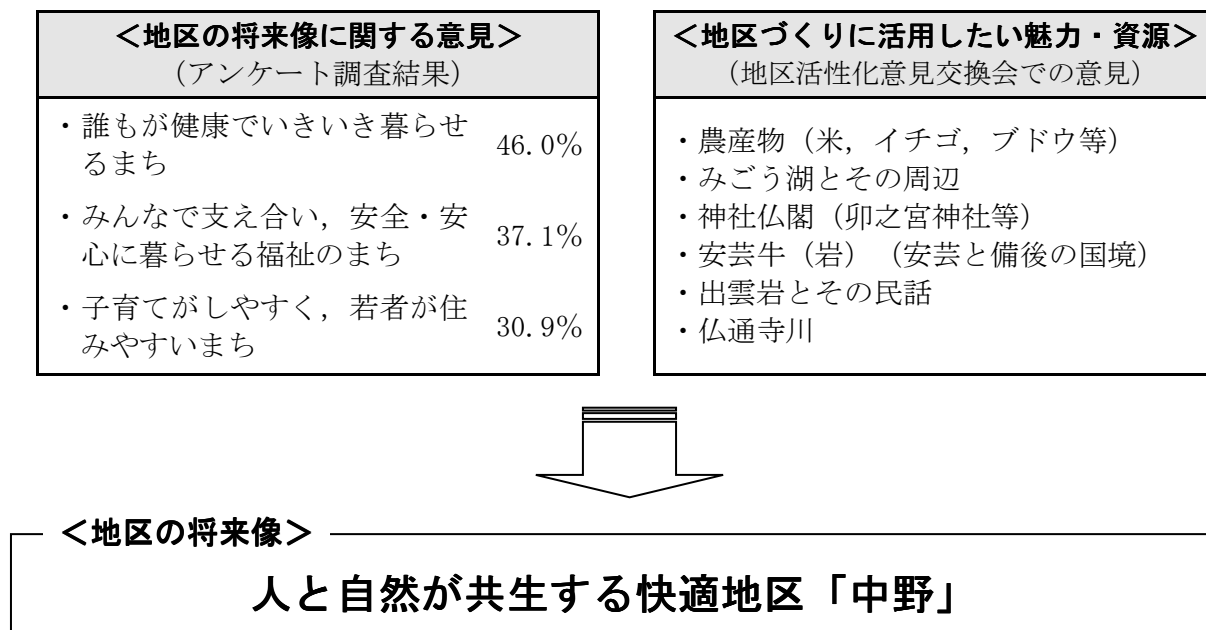
区 分	問題点・課題
高齢者の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしをはじめとする高齢者のみの世帯が増加しており，こうした世帯の日常生活が不安である。</li> <li>商業施設，医療機関が近くにないのが不便である。</li> <li>路線バス，久井ふれあいバスの利用が不便である。（運行回数が少ない，バス停留所まで遠い等）</li> <li>自家用車の運転に不安があるが，他の交通手段がなく運転せざるを得ない。</li> <li>自家用車を運転できなくなった時の生活不安が大きい。</li> <li>ゴミの分別やゴミ収集場所までの搬出が難しくなっている。</li> <li>元気な高齢者が収入を得る方法がない。</li> </ul>
若者の定住，子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が望む仕事がなく，定住しない。</li> <li>結婚しない若者が増えている。</li> <li>県立広島大学等の大学生，地区外の若者との交流が少ない。</li> <li>子どもが少ない。</li> </ul>
観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪客が休息，滞在できる施設がない，通過するのみである。</li> <li>みごう湖の活用が不十分である。</li> </ul>
農地・農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>有害鳥獣（イノシシ，シカ，ヌートリア，アライグマ，カラス等）による農作物の被害が多い。</li> <li>農業の担い手が不足している。高齢化に伴い営農意欲が低下している。</li> <li>農地管理が難しくなり，休耕田が増えている。</li> <li>農業所得の確保が難しい。</li> </ul>
山林・林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>山林が放置され，荒れている。</li> </ul>
生活環境	<p>&lt;生活環境&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県道改良が不十分である。</li> <li>小林交差点等の危険な交差点があり，交通事故の不安がある。</li> <li>公共交通機関が不便である。</li> <li>生活環境が悪化してきている。</li> <li>買い物が不便である。</li> </ul> <p>&lt;公共公益施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久井南コミュニティセンター2～3階が活用されていない。</li> </ul> <p>&lt;空き家&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家が増えており，空き家の管理活用への取り組みが必要である。</li> </ul>
地区活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎・高齢化の進行で，町内会等の地区活動への参加が負担になってきている。特に，高齢者は町内会の役員になることが負担になっている。</li> <li>小林，山中野，土取といった区単位の意識が残り，中野地区としてのまとまりがない。</li> <li>中野地区全体の交流の場，祭りが少ない。</li> <li>地区情報が共有されていない。</li> <li>行事への参加意識が低く，参加者が少ない。特に若者の参加が少ない。</li> </ul>

## 4章 地区の活性化計画

### 1 地区の将来像

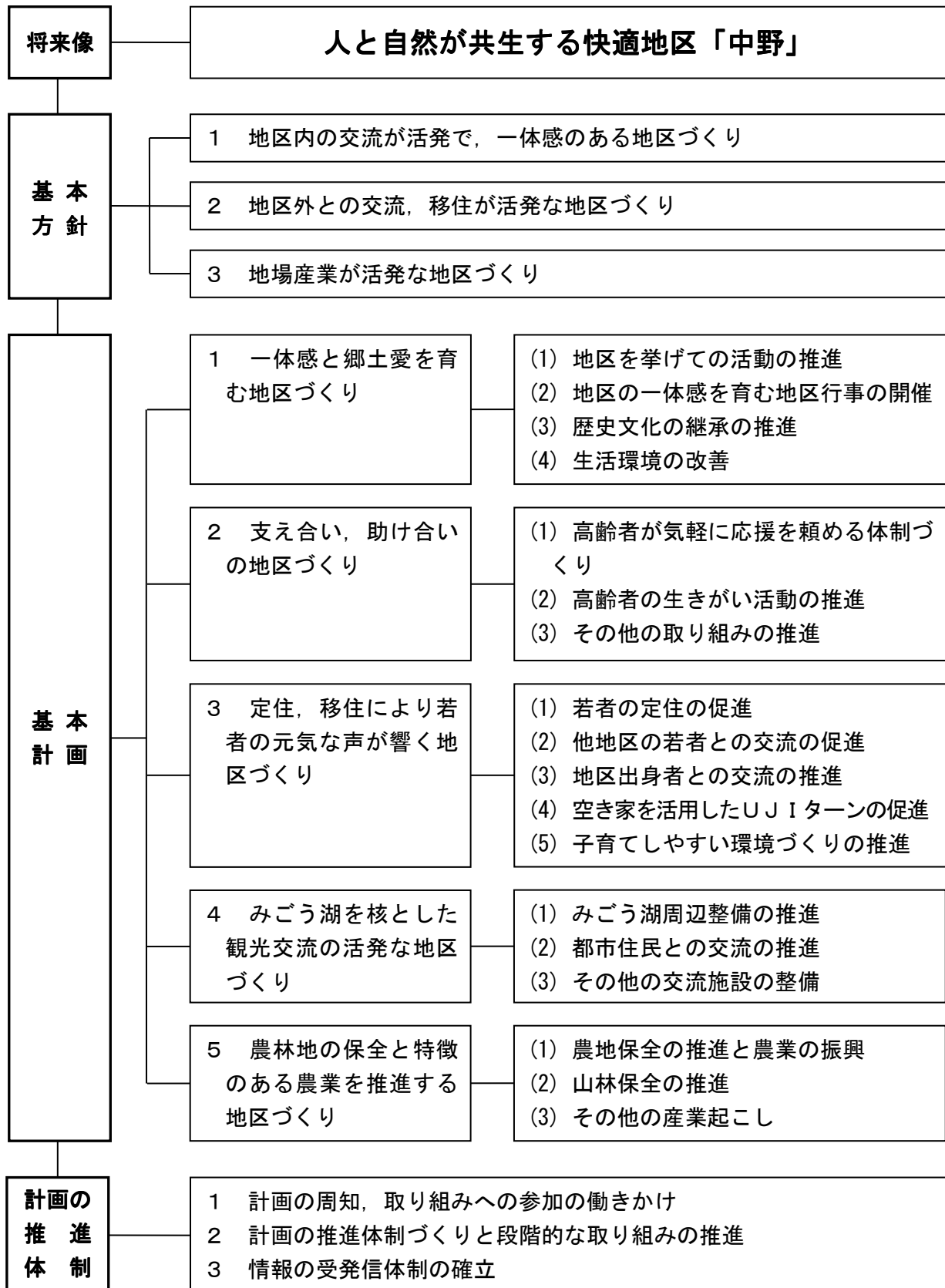
地区の将来像は、アンケート調査結果での地区の将来像に関する意見と地区活性化意見交換会（ワークショップ）での地区づくりの方向に関する意見を踏まえて、“人と自然が共生する快適地区「中野」”を掲げます。

図29 地区の将来像



地区の将来像の実現に向けて、地区づくりの基本方針、基本計画及び計画の推進体制を次のように掲げます。

図30 地区づくりの体系



## 2 地区づくりの基本方針

地区の将来像を実現するために、3つの基本方針を掲げます。

### 1 地区内の交流が活発で、一体感のある地区づくり

- ・中野地区の一体感を育む地区活動の推進，地区行事の開催
- ・歴史文化の継承などによる住民の郷土愛を育むとともに若者の定住の促進
- ・高齢者を地区全体で支え，応援する体制づくり
- ・元気な高齢者の地区づくりの担い手としての参加の促進

### 2 地区外との交流，移住が活発な地区づくり

- ・地区外の若者との交流の推進と移住のきっかけづくり
- ・地区出身者との交流の推進とUターンのきっかけづくり
- ・みごう湖周辺の整備などによる都市住民との交流の推進

### 3 地場産業が活発な地区づくり

- ・農地保全の推進と農業の振興
- ・地区外との交流の推進による就業機会の創出
- ・高齢者の生活支援などを通じた就業機会の創出
- ・情報通信基盤を活用したIT（情報技術）人材の移住の促進

### 3 地区づくりの基本計画

地区の将来像及び基本方針を踏まえて、地区づくりの基本計画においての5つの柱と主な取り組みを掲げます。

この内容はアンケート調査結果、地区活性化意見交換会（ワークショップ）での意見をもとにとりまとめたものです。

## 1 一体感と郷土愛を育む地区づくり

### (1) 地区を挙げての活動の推進

#### ア 時代の変化に対応した地区活動の推進

- ・土取、山中野、小林の3区が合併してできた中野地区町内会では、10専門部を設置して幅広く活動しており、様々な地区組織と連携して、地区の一体感の強化に一層取り組むとともに、過疎・高齢化の進行に対応した運営組織の見直し、高齢者の負担軽減などに取り組みます。
- ・地区を挙げて地区づくりの担い手の発掘、育成に取り組みます。
- ・自主防災組織においては、各分会単位の備品準備の確立、防災訓練の充実に取り組みます。

#### イ 交流施設の整備、活用の推進

- ・地区における交流、生涯学習活動を推進するため、久井南コミュニティセンター及び中野福祉プラザの一層の活用に取り組みます。特に、久井南コミュニティセンターは、2～3階の空き教室を歴史資料館、住民の健康づくりの場（各種運動機器を配置したトレーニング室）、音楽練習室、なかの支え合いセンター（仮称）事務局などへの活用に取り組みます。
- ・いつでも誰もが気軽に集まり交流できる場所づくり（一定時間開放され、自由に過ごせる場所）に取り組みます。

### (2) 地区の一体感を育む地区行事の開催

- ・マナー化し、参加者が減少傾向にある既存の地区行事の見直し、新規行事の企画などに取り組み、地区行事の活性化を図ります。
- ・地区行事の見直しにおいては、地区の一体感を育むとともに行事の魅力化を図るため、区単位から中野地区全体での行事開催を検討します。
- ・各行事において、若者、子どもが親子で楽しめる企画（みごう湖祭り、ウォーキング大会等）の充実に取り組みます。

表7 重点的に取り組みたい事業1

事業名称	中野夏まつり開催・魅力化事業
事業目的	・地区を挙げての世代間の交流の推進，地区の一体感の強化
事業内容	・帰省者が多く，参加者を集客しやすい夏祭りを地区全体で開催する ・実行委員会の設立，企画の検討（盆踊り，カラオケ，屋台，神楽，地区の歴史文化の紹介等）
事業の年次計画	・初年度：住民意向の把握，事業計画の作成 ・2年度：事業開始
事業経費の内訳	・初年度：備品の購入費等 ・2年度：PRチラシ印刷費等
その他の留意事項	・住民の理解，既存行事との調整

### (3) 歴史文化の継承の推進

- ・中野地区の歴史文化を次世代に伝えるため，各家に残されている写真の収集，高齢者の聞き取りなどにより明治以降の地区の歴史を記録します。そのほか，地区の歴史を伝える資料の収集に努めます。
- ・収集した資料などを保管，展示するために，久井南コミュニティセンターの空き教室を活用して中野歴史資料館を設置することに取り組みます。
- ・卯之宮神社の大祭など伝統的な祭りの継承を支援します。
- ・地区の歴史文化勉強会の定期的な開催などにより，地区の歴史文化に対する住民の理解を深めます。

### (4) 生活環境の改善

- ・地産地消及び都市住民との交流を推進するため，旧JA中野支所を活用した農産物直売などに取り組みます。
- ・地区内の県道改良，仏通寺川の河川改修のほか，三原市中心部へのアクセスの向上を図るために，久井地域全体で恵下谷の改良を関係機関に働きかけます。
- ・交通事故の防止を図るために，交通量の多い交差点へ信号機の設置を働きかけます。

## 2 支え合い、助け合いの地区づくり

### (1) 高齢者が気軽に応援を頼める体制づくり

#### ア 高齢者が応援を頼みやすい雰囲気づくり

- ・困りごとのある高齢者が地区住民に気楽に応援を頼めるように、「お互い様」の雰囲気づくりに取り組みます。

#### イ 見守り体制の強化

- ・日常生活に不安のある一人暮らしをはじめとする高齢者のみの世帯に対して、組内（分会）で支え合う仕組みづくりに取り組むとともに、民生委員・児童委員、見守りサポーターを中心とする包括的な相談支援、見守り体制づくり（なかの支え合いセンター（仮称））に取り組みます。

#### ウ 外出支援

- ・元気な高齢者が外出支援を望む高齢者に対して送迎を支援する仕組み、高齢者が買い物に行く日時を調整し、タクシーを複数の高齢者で利用することにより運賃負担を軽減する仕組みづくりに取り組みます。
- ・地域内交通手段の久井ふれあいバスについて、久井地域全体で今後のあり方（久井ふれあいバスの改善、デマンドタクシーの導入等）を検討し、行政と連携して交通手段の充実に取り組みます。
- ・タクシーを頼めばすぐに迎えに来てくれる体制づくりをタクシー事業者に働きかけます。

#### エ 買い物支援

- ・移動販売事業者に地区内での移動販売を働きかけます。（地区町内会で、販売場所、曜日、時刻を調整して住民に周知する等）
- ・近隣住民が声かけして、外出が難しい高齢者の買い物代行をします。
- ・生協と連携した宅配システムの充実を検討します。
- ・インターネットショッピングの助言者を育成し、高齢者に助言指導することを検討します。

#### オ ゴミ出しの支援

- ・ゴミの分別やゴミ収集場所までの搬出が難しくなっている高齢者に対して、近隣住民がゴミ出しを応援する体制づくりに取り組みます。



## カ 総合的な支援体制づくり

- ・高齢者の生活を総合的に支援するために、「なかの支え合いセンター（仮称）」の設置・運営に取り組みます。

表8 重点的に取り組みたい事業2

事業名称	なかの支え合いセンター（仮称）設置・運営事業
事業目的	・生活支援を必要とする高齢者が安心・安全に暮らせる地区づくり
事業内容	・組織設立準備会の設立，組織設立，事務局の設置（久井南コミュニティセンター） ・対象：支援を希望する住民で，会員登録した人 （要支援要介護認定の有無にかかわらず支援を希望する人） ・事業内容：相談，見守り，外出，買い物，ゴミ出し支援，災害時支援， 高齢者の交流の場の提供 ・有料でのサービス
事業の年次計画	初年度：先進地視察，組織づくり，PRチラシの作成，印刷，高齢者の登録受け付け 2年度：事業開始
事業経費の内訳	初年度：先進地視察費，PRチラシ印刷費，パソコン（登録者整理）等 2年度：受付電話料（携帯電話1台）等
その他の留意事項	・社会福祉協議会，シルバー人材センター，介護サービス事業者との連携，役割分担

## (2) 高齢者の生きがい活動の推進

- ・元気な高齢者が地区の中で様々な生きがい活動（社会貢献，就業等）ができるように，なかの支え合いセンター（仮称）への担い手として参加，農林業における軽作業への参加など，様々な参加機会の提供に取り組みます。
- ・高齢者サロンなど地区の高齢者が気楽に集い，交流できる場の充実に取り組みます。

## (3) その他の取り組みの推進

- ・介護施設（グループホーム等）の誘致に取り組み，こうした施設となかの支え合いセンター（仮称）が連携して高齢者を支える体制づくりを検討します。

### 3 定住、移住により若者の元気な声が響く地区づくり

#### (1) 若者の定住の促進

- ・雇用の確保→若者定住・U J I ターンの増加→子どもの増加といった好循環の流れを作るため、地場産業の活性化に関係機関と連携して取り組みます。
- ・情報通信基盤が整備されている地区（光ファイバー網）としての特性を活かし、こうした基盤を活用して仕事ができる人材のU J I ターンの促進に取り組みます。（アフィリエイトによる起業など）

注：アフィリエイトとは、インターネットサイト（ブログ）で広告主の商品やサービスを紹介することで、ユーザーが商品を購入するなどの成果があがった場合に報酬（広告収入）を受け取ることができる仕組みです。

- ・若者相互の交流を促進する場を確保するとともに、地区を挙げて若者の婚活を支援します。

#### (2) 他地区の若者との交流の促進

- ・地区外の若者に地区を体験してもらうための手段として、若者向けの音楽活動の場づくりに取り組みます。
- ・県立広島大学などの大学生との定期的な交流機会（農林業体験、地区行事等）づくりに努め、地区づくりの担い手としての参加及び移住へのきっかけづくりに取り組みます。
- ・移住のきっかけづくりのために、地区外の若者が体験居住するゲストハウス（自炊で安い料金で滞在できる施設）の整備に取り組みます。
- ・地区外の若者の移住を促進するために、低家賃の空き家の貸出を検討します。

表9 重点的に取り組みたい事業3

事業名称	音楽を通じた若者との交流・移住促進事業
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動の場の提供を通じて、地区外の若者との交流の推進</li> <li>・地区内外の若者の交流のきっかけづくり</li> <li>・地区外の若者の地区行事への参加による盛り上げ</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業委員会の設置（関連する専門部会で担当、若者の参加の確保）</li> <li>・音楽活動の場の確保（久井南コミュニティセンター、空き家、倉庫）、整備（防音対策等）</li> <li>・音楽器材の購入（アンプ、スピーカー等）：段階的に充実</li> <li>・貸出条件の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・料金を安くする一方で、地元交流会及び行事等への参加要請</li> <li>・利用期間中、地元向けコンサートの開催</li> </ul> </li> <li>・音楽活動の場のPR</li> <li>・地区で練習する音楽グループの地区イベントへの参加、コンサートの開催</li> <li>・長期滞在可能なゲストハウスの整備</li> </ul>
事業の年次計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：事業計画の作成、住民の合意形成、音楽活動の場の候補地の選定、所有者との協議、ゲストハウスの確保（空き家）等</li> <li>・2年度：音楽活動の場、ゲストハウスの修繕、音楽器材の購入、次年度からの利用募集等</li> <li>・3年度：事業開始</li> </ul>
事業経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：先進地視察費等</li> <li>・2年度：音楽活動の場、ゲストハウスの修繕費、音楽器材購入費、PR費等</li> <li>・3年度：音楽活動の場、ゲストハウス管理費、PR費等</li> </ul>
その他の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音等に配慮した場所の確保</li> </ul>

### **(3) 地区出身者との交流の推進**

- ・地区出身者との定期的な交流を進め、地区に対する関心を高めるとともに、地区行事への参加、退職後などのUターンへ結びつけます。
- ・地区情報の発信については、町内会便りの送付、インターネットを通じての情報発信に取り組めます。

### **(4) 空き家を活用したU J I ターンの促進**

- ・増加している空き家を活用してU J I ターンに結びつけるため、地域支援員と連携して空き家所有者の確認、意向調査など行い、市の空き家バンクへの登録を働きかけます。

### **(5) 子育てしやすい環境づくりの推進**

- ・すくすくサロン（久井認定こども園入所までの預かり）の充実など、地区を挙げて子育て世代に対する支援（地区住民による学童保育等）に取り組めます。
- ・地区体験豊かな子どもを育てるために、自然、歴史文化、農林業など様々な地区体験の提供に取り組めます。
- ・長期休暇中などにおいては、多人数の同世代の子どもとの交流を通じて成長が促されるように、都市部（三原市中心部）の子どもを招き、自然、歴史文化、農林業など様々な体験を通しての交流を推進します。

## 4 みごう湖を核とした観光交流の活発な地区づくり

### (1) みごう湖周辺整備の推進

- ・住民相互及び地区外からの来訪客との交流を促進するために、地区を特徴づけているみごう湖周辺の整備に取り組みます。

表10 重点的に取り組みたい事業4

事業名称	みごう湖魅力アップ事業
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民の交流，健康づくり</li> <li>・来訪客との交流による地区の活性化</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みごう湖魅力アップ部会の設置</li> <li>・みごう湖魅力アップ計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングコースづくり（入門コース～上級コース，サイクリング，ジョギング等でも活用）</li> <li>・休息広場の整備（花木の植栽，ベンチ，トイレ等）</li> <li>・コース沿道の修景（桜並木の充実，四季折々の花木の植栽）</li> <li>・釣り場の整備</li> </ul> </li> <li>・みごう湖を活用したイベント開催（湖水祭り，ウォーキング大会，野外コンサート，花火大会，鯉のぼりの設置，バザー等）</li> <li>・県有地を活用した追加整備（キャンプ場，野外遊具等）</li> </ul>
事業の年次計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：先進地視察，計画の策定，整備対象地区の確認，道路沿道の整備（草刈り等）</li> <li>・2年度：休息広場整備</li> <li>・3年度：草刈り等の環境整備，イベント開催</li> </ul>
事業経費の内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：先進地視察費，講師謝金（計画策定支援），草刈り機，チェーンソーの購入費等</li> <li>・2年度：休息広場整備費等</li> <li>・3年度：イベントPR費等</li> </ul>
その他の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民有地の確認（整備できる範囲の確認→県有地を対象とした整備）</li> <li>・ダムを所有している県との調整</li> </ul>

### (2) 都市住民との交流の推進

- ・来訪客に対して，みごう湖周辺におけるイベント開催をはじめとする多様な地区体験の提供に取り組みます。

表11 体験メニュー例

区分	内容
自然	・仏通寺川での川遊び（魚釣り，メダカやザリガニ採り等）
歴史文化	・卯之宮神社，出雲岩，吉田山甌穴群，城山（土倉城跡）等の歴史文化学習
農林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田植え，稲刈り，芋掘り等の農業体験</li> <li>・山林の間伐，竹，木材の加工体験</li> </ul>
その他	・山陽自動車道の標高最高地点周辺の景観を題材にした写真撮影会の実施，中野福祉プラザで写真コンテストの開催

### (3) その他の交流施設の整備

- ・山陽自動車道三原久井インターチェンジに隣接する立地条件を活用し，特産物販売所の設置を検討します。
- ・地区内に分布するため池を活用して釣り堀の開設を検討します。

## 5 農林地の保全と特徴のある農業を推進する地区づくり

### (1) 農地保全の推進と農業の振興

#### ア 有害鳥獣対策の確保

- ・地区を挙げて有害鳥獣対策を強化し、農家の営農意欲を高めます。

表12 重点的に取り組みたい事業5

事業名称	有害鳥獣撃退事業
事業目的	・有害鳥獣から農地，農作物を守り，営農意欲を高める
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業委員会の設立（関連する専門部会）</li> <li>・事業計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区全体での取り組み体制づくり（住民への意識啓発，協力体制づくり）</li> <li>・イノシシ撃退対策の検討（有害鳥獣捕獲免許取得者の育成と助成，イノシシ罠の設置（超大型），イノシシ共同防護柵の設置，農地へ牛，山羊の放牧等）</li> <li>・有害鳥獣対策のイベント化の検討（3地区対抗で大規模な罠の設置による捕獲大会）</li> <li>・捕獲したイノシシの活用方法</li> </ul> </li> <li>・事業実施母体の設立，活動支援</li> </ul>
事業の年次計画	初年度：先進地視察，勉強会の開催，事業計画の作成 2年度：実施母体の設立，担い手育成 3年度：事業開始
事業経費	初年度：先進地視察費，研修，勉強会の開催費（講師謝金等） 2年度：担い手育成研修費等 3年度：有害鳥獣捕獲免許取得助成，イノシシ罠，防護柵の購入費等
その他の留意事項	・関係組織との連携，関連補助制度の活用

#### イ 農業の担い手の確保

- ・近隣で農地管理を相互に支援するとともに，農業機械の共同利用，オペレーター派遣システムづくりに取り組みます。こうした取り組みと合わせて，地区の農地を一体的に管理する農業生産法人の設立を検討します。
- ・農業の担い手を確保，育成するため，元気な高齢者の活用を検討します。また，大学生など地区外の若者に農業体験の場を提供し，地区及び農業への関心を高めるとともに将来の移住を働きかけます。

#### ウ 農業の振興

- ・本地区では，米だけでなく，イチゴ，ブドウ，自然薯，にんにくなどの特産物があり，こうした農産物のブランド化に向けてPRの強化，JA以外の販路の開拓を支援します。（地区特産品のPRチラシづくり，広域的な情報発信等）
- ・農業生産法人が設立された場合は，連携して地区農業の振興に取り組みます。

## **(2) 山林保全の推進**

- ・荒れている山林の間伐，植林，竹林の拡大防止などにより里山の再生に取り組みます。また，こうしたことを通じて，有害鳥獣被害の軽減を図ります。

## **(3) その他の産業起こし**

- ・地区の山野草を漢方薬として活用する方法を研究し，新たな産業起こしに取り組むことを検討します。

## 4 計画の推進体制

### (1) 計画の周知、取り組みへの参加の働きかけ

- ・地区住民へあらゆる機会を通じて「中野地区活性化計画」を周知するために、「中野地区活性化計画」概要版の全戸配布，地区町内会の分会及びその他の地区組織の会合で「中野地区活性化計画」の説明を行うとともに，今後の取り組みへの参加を働きかけます。

### (2) 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

#### ア 計画の推進体制づくり

- ・中野地区の一体感が増し，一体的かつ幅広い活動が推進できるように各種団体との連携を強化します。
- ・人口が減少する中で，元気な住民全員の参加による地区づくり推進体制を確立します。（特に，若い世代の参加の働きかけ）
- ・人材バンクの設置，登録により，適材適所の人材活用（できる人，やりたい人，ボランティア）を行います。

#### イ 段階的な取り組みの推進

- ・計画の優先順位付け（地区の重点課題への対応）を行い，段階的な取り組みを推進します。

#### ＜重点的に取り組みたい事業＞

- ・中野夏まつり開催・魅力化事業
- ・なかの支え合いセンター（仮称）設置・運営事業
- ・音楽を通じての若者との交流・移住促進事業
- ・みごう湖魅力アップ事業
- ・有害鳥獣撃退事業

#### ウ 取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成

- ・住民，各種団体，企業などとの連携を強化します。
- ・地区出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援を活用します。
- ・講習会，研修会，先進地視察などの実施により人材の育成を図ります。

### (3) 情報の受発信体制の確立

#### ア 地区内向けの情報発信

- ・町内会便りの内容の充実に取り組みます。
- ・若者世帯などに対してインターネットを活用した情報の発信に取り組みます。

#### イ 地区外向けの情報発信

- ・インターネットを活用した中野地区の情報発信体制づくりを行い、地区出身者、都市住民に対して地区の魅力・活動（年間行事・祭りカレンダー）を発信することにより、交流を推進します。
- ・特に、若者、子育て世代のU J I ターンを促進するため、移住相談、空き家の紹介、子育てなどの情報を、インターネットなどを活用して発信することに取り組みます。

#### ウ 人材の確保

- ・中野地区町内会のホームページを管理、活用できる人材を確保、育成し、タイムリーな情報の発信体制を確立します。



## 資料 計画策定の取り組み

### 1 中野地区地域計画策定委員会名簿

番号	名 前	役 職	所属団体
1	菰下 富幸	委 員 長	中野地区町内会長，小林区長
2	片岡 信裕	副委員長	中野地区副町内会長，山中野区長
3	五條歩 重次郎	副委員長	中野地区副町内会長，土取区長
4	松浦 良一	顧 問	市議会議員
5	野村 定見	事務局長	
6	徳納 保秀	委 員	第1分会長
7	平田 忠	委 員	第2分会長
8	藤原 勲	委 員	第3分会長
9	土居 富弘	委 員	第4分会長
10	水越 敏明	委 員	第5分会長
11	陶 静雄	委 員	第6分会長
12	溝口 幸男	委 員	第7分会長
13	大石 正	委 員	第8分会長
14	桑原 泰行	委 員	第9分会長
15	高田 典政	委 員	第10分会長
16	西川 覚	委 員	第11分会長
17	内窪 利哉	委 員	町内会文化部長
18	神笠 亮一	委 員	町内会体育部長
19	木山 實男	委 員	町内会福祉部長
20	風盛 和夫	委 員	町内会高年部長
21	古島 弘喜	委 員	町内会壮年部長
22	久米原 美喜男	委 員	町内会青年部長
23	陶 八千枝	委 員	町内会女性部長

### 2 地区活性化意見交換会（ワークショップ）参加者（策定委員除く）

（五十音順）

番号	名 前	番号	名 前	番号	名 前
1	伊藤 裕江	8	辻 啓子	15	平田 繁子
2	桑原 敏美	9	土居 桂子	16	平田 シゲ子
3	志田 英美	10	西内 恵美子	17	三浦 三恵子
4	末田 幸恵	11	沼田 八重子	18	水越 睦恵
5	竹本 善行	12	野々部 恵子	19	溝口 幸子
6	田宮 英子	13	野村 早子		
7	津金 孝子	14	平田 和美		

### 3 計画策定の経緯

日 程	委員会等	協議事項
平成27(2015)年 6月19日(金)	第1回地域計画策 定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域計画策定委員会の設置</li> <li>・地域計画策定の進め方について</li> <li>・アンケート調査, 地区活性化意見交換会(ワーク ショップ)等について</li> </ul>
7月18日(土)	第2回地域計画策 定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査について</li> </ul>
7月末~8月末	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の実施(地区住民(16歳以 上))</li> </ul>
9月19日(土)	第1回中野地区活 性化意見交換会 (ワークショップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果の報告</li> <li>・地区活性化意見交換会(ワークショップ) (地区の資源・魅力と活用のアイデア)</li> </ul>
10月31日(土)	第2回中野地区活 性化意見交換会 (ワークショップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の問題点・課題と解決方法について</li> <li>・参加者が関心のあること, 今後取り組みたいこ と</li> </ul>
11月28日(土)	第3回中野地区活 性化意見交換会 (ワークショップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ別の意見交換</li> <li>・優先順位の高い項目の検討と事業計画の作成</li> </ul>
平成28(2016)年 1月17日(日)	第3回地域計画策 定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画素案の協議, 修正</li> </ul>
2月21日(日)	第4回地域計画策 定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案の協議, 承認</li> <li>・今後の取り組みについて</li> </ul>